

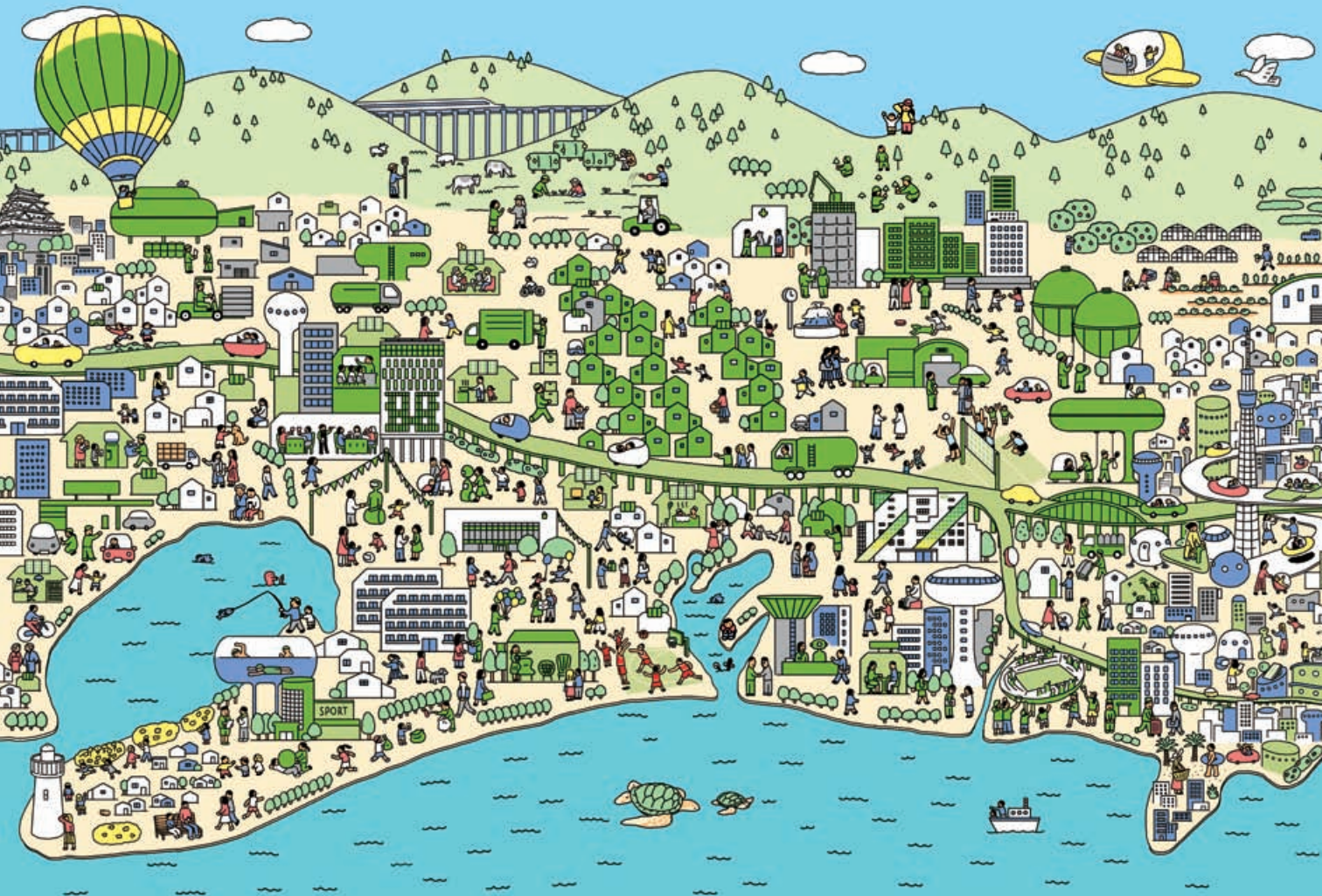
第17期
中間

株主通信

生活にフイックオリティ

sala

平成29年12月1日から平成30年5月31日まで



証券コード: 2734

株式会社サーラコーポレーション

私のまちにSALA、暮らしとともにSALA

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループにご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループの第17期中間期(平成29年12月1日～平成30年5月31日)の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

神野 秀太郎

中間期業績ハイライト

サーラグループを取り巻く環境は、エネルギー業界では、サーラグループの都市ガス供給エリアにおいて小売全面自由化以降、新たに参入した企業はないものの電気、ガス小売販売を巡るエネルギー事業者間の競争は激しさを増しています。また、大都市圏において既存のエリアを越えたエネルギー大手事業者間の提携が進み、エネルギー業界における新たな枠組みづくりが始まっています。

このような状況のなか、サーラグループは平成28年12月より、「私のまちにはSALAがある～暮らしとエネルギーのSALAへ～」をテーマに掲げた第3次中期経営計画に基づく重点課題に取り組みました。本中期経営計画では、既存事業の強化に引き続き取り組むとともに、サービス体制から事業展開、組織運営に至るまで徹底してお客さま起点から見直すことにより、「暮らしとエネルギーのSALA」として広く地域に浸透することを目指しています。

当中間期におきましては、エネルギー&ソリューションズ事業におけるお客さま視点の総合サービスを実現する第一歩として、中部ガス株式会社とガステックサービス株式会社の本社機能を統合するとともに、両社の役員を同一にするなど事業会社の枠を超えた組織再編などに取り組みました。

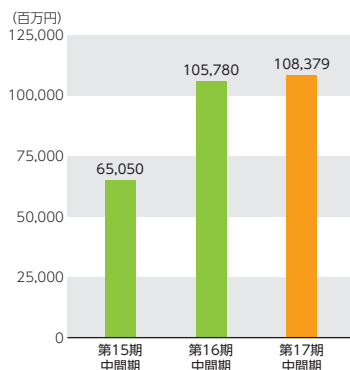
また、IT等の駆使によるお客さま情報を重視したビジネスの創造を目的として、平成29年12月に株式会社サーラライフスタイルイノベーションを設立しました。(詳細は11ページをご覧ください)

業績につきましては、エネルギー&ソリュー

ションズ事業におけるガス、石油製品の販売価格の上昇などにより、売上高は108,379百万円と前年同期比2.5%増加しました。利益面はハウジング事業において住宅の販売棟数が減少したことなどにより、営業利益は5,423百万円と前年同期比7.9%減少しました。また、キャッシュフローの動きを伴わない四半期末日時点の時価評価として、営業外費用に為替予約に係るデリバティブ評価損820百万円を計上したことにより、経常利益は前年同期比20.8%減の4,818百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比16.2%減の3,351百万円となりました。

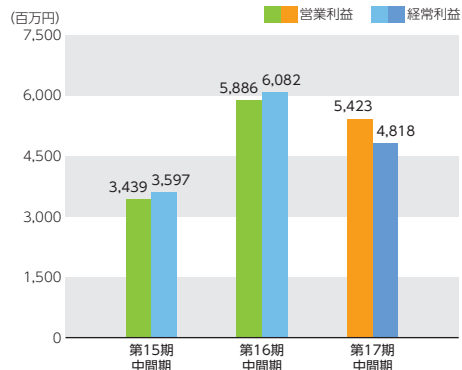
売上高

108,379百万円
(前年同期比2.5%増)



営業利益

5,423百万円
(前年同期比7.9%減)

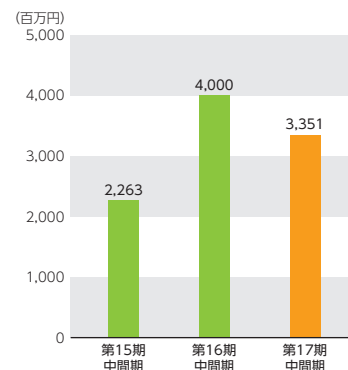


経常利益

4,818百万円
(前年同期比20.8%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

3,351百万円
(前年同期比16.2%減)



▶ 決算のポイントは7~8ページをご覧ください

通期連結業績の見通し

通期（平成30年11月期）連結業績予想は、平成30年1月12日に公表した内容から変更はございません。
前年同期の業績に分譲マンションの販売実績が含まれているプロパティ事業は減収減益を予想していますが、その他のセグメントは概ね順調に推移する見込みです。

■ 通期連結業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)
前期実績 (A)	199,675	4,696	4,491	2,772
当期予想 (B)	208,000	5,100	5,500	3,500
増減額 (B-A)	8,324	403	1,008	727

なお、計画どおり推移しますと、売上高、営業利益及び経常利益はいずれも過去最高となる見込みです。

配当について

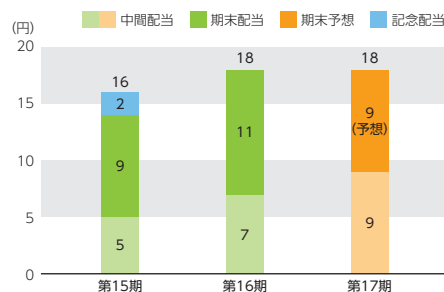
当社は配当の基本方針として次のとおり定めています。

為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向30%を目標として配当を行います。

中間配当金

9円

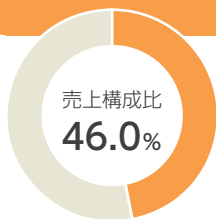
(前年同期比 2円増)



当期の配当金の計画につきましては、中間配当と期末配当の平準化を図っております。このため、期末配当金の予想は中間配当金と同額の**9円**としております。以上により、年間配当金は**18円**となり、前期と同額となる見込みです。

事業セグメント別の概況

エネルギー&ソリューションズ事業

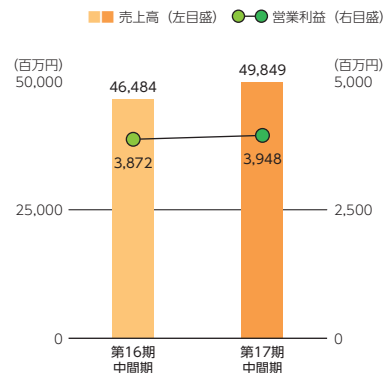


売上高 **49,849**百万円 (前年同期比 7.2%増) ▲

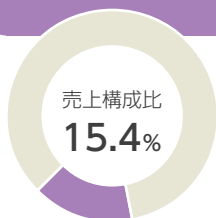
営業利益 **3,948**百万円 (前年同期比 2.0%増) ▲

業績の概要

- 都市ガス、LPガスともにガス販売量は前年同期並みとなりました。
- ガス、石油製品の販売価格の上昇に加え、電力小売販売の取組み強化によりサーラの電気のお客さま数が増加したため、売上高は増加しました。
- 利益面はガスの仕入価格が上昇したことにより売上総利益は減少したものの、販売費及び一般管理費の低減に努めた結果、営業利益は増加しました。



エンジニアリング&メンテナンス事業

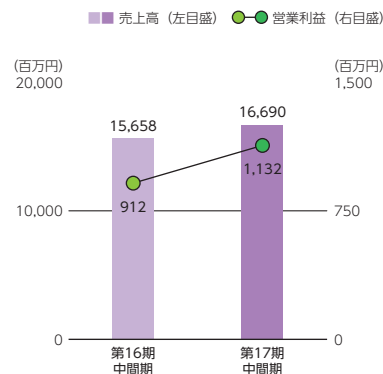


売上高 **16,690**百万円 (前年同期比 6.6%増) ▲

営業利益 **1,132**百万円 (前年同期比 24.2%増) ▲

業績の概要

- 設備及びメンテナンス部門において大型物件の完成工事が増加したことにより、売上高は増加しました。
- 利益面は売上高の増加に加え、利益体質の強化に向けた社内プロセスの見直しや選別受注の実施により設備及びメンテナンス部門の完成工事の利益率が高い水準にあったため、営業利益は増加しました。
- 受注物件の確実な当期施工により、通期計画の達成を見込んでいます。



ハウジング事業

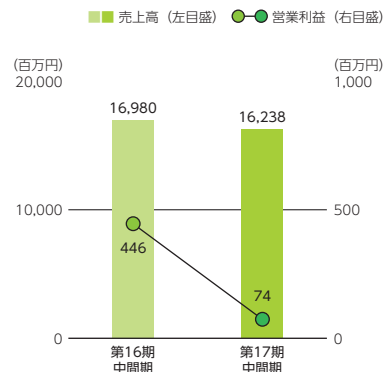


売上高 **16,238**百万円 (前年同期比 4.4%減) ▼

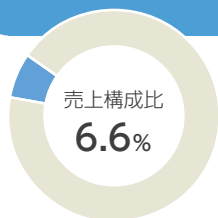
営業利益 **74**百万円 (前年同期比 83.3%減) ▼

業績の概要

- 住宅販売部門において注文住宅、分譲住宅ともに販売棟数が減少したため売上高は減少しました。
- 利益面は住宅部資材加工・販売部門は前年同期並みを維持したものの、住宅販売部門における分譲住宅の引渡しが計画より遅れたため、営業利益は大幅に減少しました。
- 分譲住宅の販売棟数上積みなどにより、通期計画の達成を見込んでいます。



カーライフサポート事業

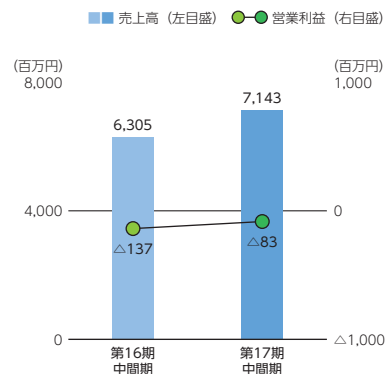


売上高 **7,143**百万円 (前年同期比 13.3%増) ▲

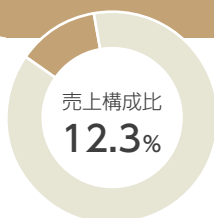
営業利益 **△83**百万円
(前年同期は営業利益△137百万円) ▲

業績の概要

- 中古車販売の取組みを強化したことにより、フォルクスワーゲン、アウディともに中古車の販売台数が増加しました。
- 国内における好調な市況を背景にアウディの新車販売台数が増加したため売上高は増加し、営業損失は縮小しました。
- フォルクスワーゲンでは追加モデルの投入、アウディではハイエンドモデルのモデルチェンジを起爆剤とした販売台数の増加とお客さま視点に立ったサービスの向上に引き続き注力していきます。

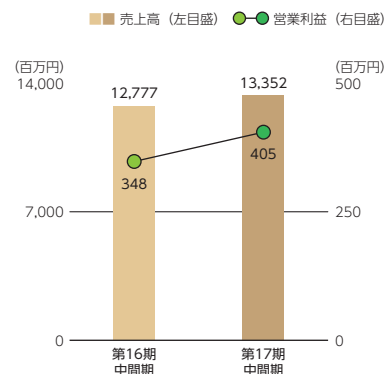


アニマルヘルスケア事業



売上高 **13,352**百万円 (前年同期比 **4.5%増**)

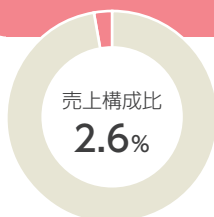
営業利益 **405**百万円 (前年同期比 **16.3%増**)



業績の概要

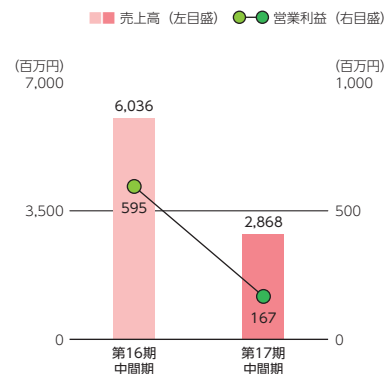
- 畜産部門において動物用医薬品の販売が好調に推移するとともに、ペット関連部門において主要取引先に対する新商品の販売などを強化したことにより、売上高、営業利益ともに増加しました。
- お客さまに対するセミナーの開催などを通じて、営業担当者の提案力やコンサルティング能力を磨くことにより、業界におけるシェア拡大に取り組んでいます。

プロパティ事業



売上高 **2,868**百万円 (前年同期比 **52.5%減**)

営業利益 **167**百万円 (前年同期比 **71.9%減**)



業績の概要

- 資産マネジメント部門は賃貸料収入が増加したことにより堅調に推移しましたが、前年同期は期中に完成した分譲マンションの販売実績がセグメントの業績に大きく寄与していたため、売上高、営業利益ともに大幅に減少しました。
- 豊橋駅前大通二丁目地区の再開発事業は、現在、既設建築物の解体工事が進んでいます。平成30年11月にマンション、商業施設、オフィス、図書館等を備える東棟の建設工事に着工する予定です。(東棟：2021年6月竣工予定)

連結決算の概況

連結貸借対照表(要旨)

[単位:百万円]

科目	当中間期末 平成30年5月31日	前期末 平成29年11月30日
資産の部		
流動資産	68,498	65,351
固定資産	105,860	105,279
有形固定資産	83,738	82,785
無形固定資産	1,587	1,730
投資その他の資産	20,534	20,763
1 資産合計	174,358	170,630
負債の部		
流動負債	62,858	63,477
固定負債	55,854	54,027
2 負債合計	118,712	117,504

[単位:百万円]

科目	当中間期末 平成30年5月31日	前期末 平成29年11月30日
純資産の部		
株主資本	54,115	51,657
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	25,174	24,518
利益剰余金	24,184	21,504
自己株式	△3,268	△2,390
その他の包括利益累計額	454	456
その他有価証券評価差額金	930	895
繰延ヘッジ損益	△159	△54
退職給付に係る調整累計額	△316	△383
非支配株主持分	1,075	1,011
3 純資産合計	55,645	53,125
負債純資産合計	174,358	170,630

連結決算のポイント

1 資産

資産は174,358百万円と、前期末と比較して3,728百万円増加しました。これは主に、「商品及び製品」が1,203百万円増加したことによるものです。

2 負債

負債は118,712百万円と、前期末と比較して1,208百万円増加しました。これは主に、「短期借入金」が3,837百万円増加したことによるものです。

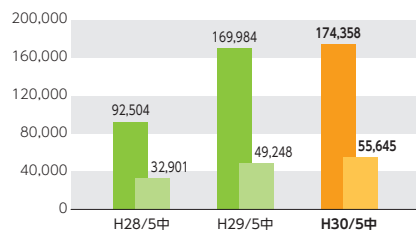
3 純資産

純資産は55,645百万円と、前期末と比較して2,520百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が2,679百万円増加(親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により3,351百万円増加、配当の実施により672百万円減少)したことによるものです。

財務ハイライト

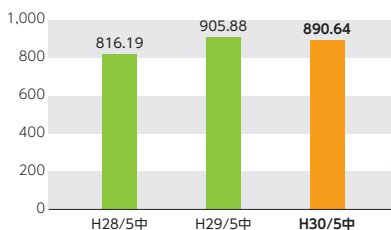
総資産・純資産

■ 総資産 ■ 純資産 (単位:百万円)



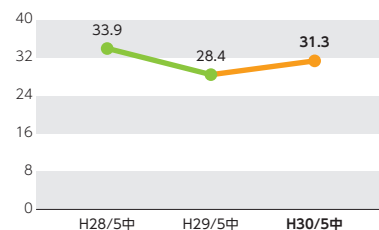
1株当たり純資産

(単位:円)



自己資本比率

(単位:%)



連結損益計算書(要旨)

[単位:百万円]

科目	当中間期	前中間期
	平成29年12月1日～ 平成30年5月31日	平成28年12月1日～ 平成29年5月31日
4 売上高	108,379	105,780
売上原価	79,001	76,498
売上総利益	29,378	29,282
販売費及び一般管理費	23,954	23,395
5 営業利益	5,423	5,886
営業外収益	384	362
営業外費用	989	167
6 経常利益	4,818	6,082
特別利益	33	29
特別損失	27	35
税金等調整前四半期純利益	4,825	6,075
法人税、住民税及び事業税	1,179	1,405
法人税等調整額	230	558
四半期純利益	3,414	4,111
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	110
6 親会社株主に帰属する四半期純利益	3,351	4,000

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

[単位:百万円]

科目	当中間期	前中間期
	平成29年12月1日～ 平成30年5月31日	平成28年12月1日～ 平成29年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,581	7,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,327	△4,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,174	△2,240
現金及び現金同等物の増減額	427	724
現金及び現金同等物の期首残高	16,986	17,002
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,413	17,727

4 売上高

エネルギー&ソリューションズ事業におけるガス、石油製品の販売価格の上昇などにより、売上高は108,379百万円(前年同期比2.5%増加)となりました。

5 営業利益

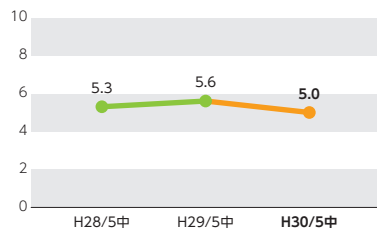
ハウジング事業において住宅販売が低調に推移したことなどにより、営業利益は5,423百万円(前年同期比7.9%減少)となりました。

6 経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益

キャッシュフローの動きを伴わない四半期末日時点の時価評価として、営業外費用に為替予約に係るデリバティブ評価損820百万円を計上したことにより、経常利益は4,818百万円(前年同期比20.8%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,351百万円(前年同期比16.2%減少)となりました。

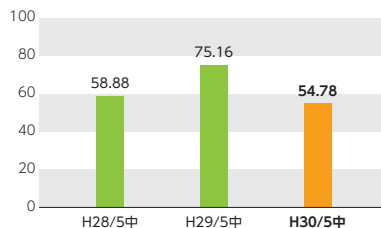
売上高営業利益率

(単位: %)



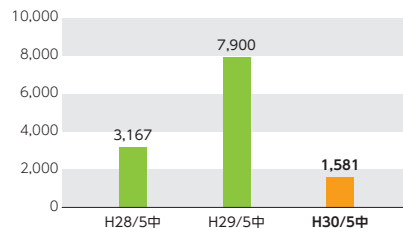
1株当たり四半期純利益

(単位: 円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位: 百万円)



会社一覧 (平成30年5月31日現在)

サーラグループは、当社、当社連結子会社37社及び非連結子会社7社で構成されています。

サーラグループ各社は、今後も、共通の基本理念のもと互いに連携し、より一層お客さまの暮らしや地域社会に根ざした事業を展開していきます。

エネルギー&ソリューションズ事業

事業内容 都市ガス、LPガス、石油製品、高圧ガス及び関連機器の販売、電気供給事業、リフォーム、エネルギー輸送

事業エリア 愛知、静岡、岐阜、神奈川など1都11県

中部瓦斯(株)
サーラeエナジー(株)
(株)リビングサーラ

(株)ガスリビング中部
サーラeパワー(株)
サーラの水(株)

(株)ガスリビング浜松西部
ガステックサービス(株)
三河湾ガスターミナル(株)

(株)ガスリビング浜松北部
グッドライフサーラ関東(株)
(株)日興

サーラガス磐田(株)
サーラ物流(株)
神野オイルセンター(株)

※非連結子会社3社

エンジニアリング&メンテナンス事業

事業内容 都市インフラ整備、設備工事・メンテナンス

事業エリア 愛知、静岡、東京、宮城

(株)中部
(株)鈴木組
テクノシステム(株)

神野建設(株)
(株)中部技術サービス
西遠コンクリート工業(株)

※非連結子会社4社

ハウジング事業

事業内容 注文住宅の請負、建物のリフォーム請負、
建築資材・住設機器等の販売

事業エリア 愛知、静岡、三重、神奈川

サーラ住宅(株)
太陽ハウジング(株)
エコホームパネル(株)

中部ホームサービス(株)
サーラハウスサポート(株)

カーライフサポート事業

事業内容 フォルクスワーゲン9店舗・アウディ3店舗(正規ディーラー)、
車検・整備、オートリース

事業エリア 愛知、静岡、東京

サーラカーズジャパン(株)

アニマルヘルスケア事業

事業内容 ペット用医薬品・療法食、動物用医薬品、畜産用機械設備、
小動物医療機器の販売

事業エリア 愛知、埼玉、広島、宮城など1都2府15県

(株)アスコ

大和医薬品工業(株)

プロパティ事業

事業内容 不動産事業、ホテル事業、飲食店事業、スポーツクラブ運営

事業エリア 愛知、静岡

中部ガス不動産(株)
(株)サーラホテル&レストランズ

サーラスポーツ(株)

その他の事業

事業内容 割賦販売及びリース、情報処理 等

事業エリア 愛知、静岡

サーラフィナンシャルサービス(株) (株)サーラビジネスソリューションズ
新協技研(株) (株)エス・アール・ピー
(株)サーラライフスタイルイノベーション

カーライフサポート事業

フォルクスワーゲンとアウディの正規ディーラーとして、愛知・静岡・東京に新車販売拠点12店舗の他、中古車専門拠点や車検・整備工場などを配置し、各地域に根付いた事業展開を行っています。お客さまに寄り添い、安心・安全・快適なカーライフを提供するとともに、多店舗展開のスケールメリットを生かしたビジネスモデルで今後さらに顧客基盤を強化し、地域から信頼され、愛される店づくりを目指します。

事業内容

新車販売事業(フォルクスワーゲン・アウディ正規ディーラー)
 中古車販売事業(フォルクスワーゲン・アウディ認定中古車/国産全メーカー)
 一般整備事業

今後の取組み

フォルクスワーゲン

インポーター直営店に次ぐ販売台数(年間約2,000台)を誇る日本最大級の正規ディーラーです。現在9店舗を展開しており、このうち小平店とセンター八王子店については、店舗デザインを現在の仕様に改めるとともに、より快適な店舗環境の実現に向けて当期中に改装を予定しています。

アウディ

平成31年1月にアウディ浜松店のリニューアルオープンを予定しています。アウディスポーツコーナーを設けるなど、より多くのお客さまにアウディのハイエンドモデルの魅力をお伝えする予定です。

フォルクスワーゲン、アウディ

新車販売の全拠点において認定中古車の販売を行うなど、中古車販売体制の強化を図っています。



平成30年3月に販売開始した新型ポロ

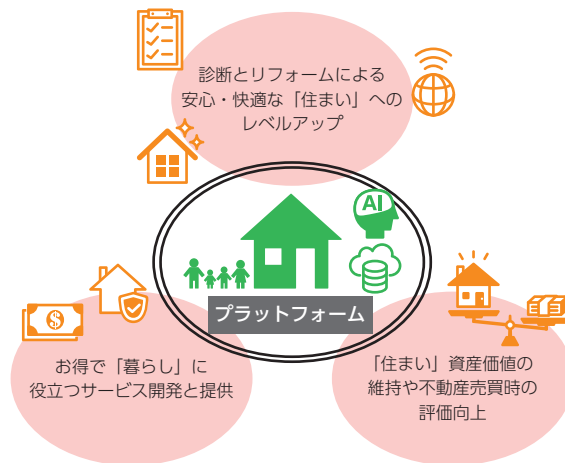


新「アウディ浜松店」完成予想図

「住まい」「暮らし」提案のプラットフォーム会社設立

平成29年12月1日、サーラグループ全体のマーケティングや商品・サービス開発を行うプラットフォーム会社「株式会社サーラライフスタイルイノベーション」を設立しました。

AIやIoTの活用による安心して快適に過ごせる「住まい」、経済的でお得な「暮らし」を実現するサービスを提供するプラットフォームを構築していきます。



新・住宅展示場オープン

サーラ住宅株式会社は、平成30年4月に宿泊体感型モデルハウス「岩田運動公園ひがし展示場」を豊橋市に、5月に「春日井展示場（ナゴヤハウジングセンター春日井会場内）」を春日井市にオープンしました。



岩田運動公園ひがし展示場

岩田運動公園ひがし展示場の特徴

共働き家族に合わせて、ゆとりある充実の時間をもたらす家事アイデアを詰め込んだモデルハウス

- 水廻りを工夫し、2階に洗濯スペースと浴室を設置
- 自然とお子さんの自立心を育て、親の手間も省ける「ただいま動線」
- 家族みんなが収納上手になる床空間と天空間スペース



春日井展示場

春日井展示場の特徴

- 「Best-air (ベストエア)」を採用し、全館調湿換気により年中心地よい住まいを提案
- 内装・外装ともに明るく開放的なイメージで、家族の一体感が感じられる広々としたリビングルーム
- 子育て世代を想定した家事動線、スペースを有効活用する「暮らすα」により収納や書斎などの実用的な空間を確保

会社の概要及び株式の状況 (平成30年5月31日現在)

商号	株式会社 サラコーポレーション
設立	平成14年5月1日
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サラタワー
資本金	80億2,500万円
証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
役員	代表取締役会長 中村 捷二 代表取締役社長 神野 吾郎 代表取締役専務 松井 和彦 取締役 石原 裕 取締役 鳥居 裕 取締役 山口 信仁 取締役(社外) 一柳 良雄 取締役(社外) 石黒 和義 監査役(常勤) 原田 保久 監査役(社外) 杉井 孝 監査役(社外) 村松奈緒美
従業員数	3,934名(連結)

発行可能株式総数 120,000,000株

発行済株式総数 66,041,147株
(自己株式8,161株を含む)

1単元の株式数 100株

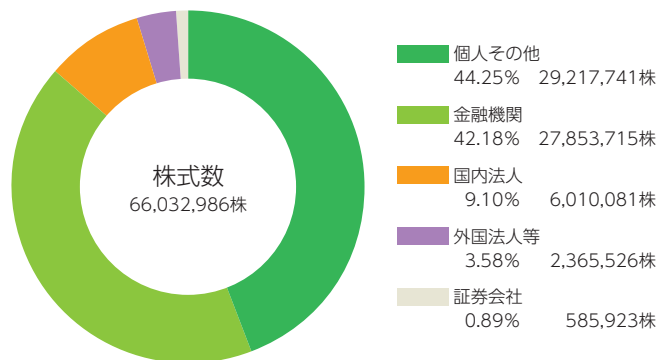
株主数 11,656名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
サラコーポレーション従業員持株会	3,960	5.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,496	5.29
三井住友信託銀行株式会社	2,920	4.42
株式会社三菱UFJ銀行	2,592	3.92
野村信託銀行株式会社(サラコーポレーション従業員持株会専用信託口)	2,220	3.36
株式会社静岡銀行	2,180	3.30
ガステックサービス共栄会	2,002	3.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,595	2.41
株式会社三井住友銀行	1,414	2.14
株式会社みずほ銀行	1,304	1.97

● 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布



● 当社は自己株式8,161株を保有していますが、上記分布から除いています。
● 比率は自己株式を控除して計算しています。

株主優待のご案内

株主優待

当社では、日頃の株主の皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、サーラグループへの一層のご理解を賜りたく、以下のとおり株主優待制度を実施しています。

■ 対象

毎年11月末日現在において、500株以上所有の株主さま

■ 内容

ご所有の株式数に応じて、下表の金額分の株主優待券をお届けしています。

株主優待券の有効期限は一年間となります。

所有株式数		優待内容
500株以上	5,000株未満	1,000円分の株主優待券
5,000株以上	10,000株未満	5,000円分の株主優待券
10,000株以上		10,000円分の株主優待券

株主優待券は、サーラグループが運営する所定の店舗・施設（ホテル、飲食店、ガソリンスタンド、雑貨店、サーラプラザ等）で、金券としてご利用いただけます。



株主優待カタログ '18

ご利用店舗がお近くにない株主さまは、株主優待券の金額に応じて、「株主優待カタログ」からお好きな商品をお選びいただけます。

※上記内容は予告なく変更する場合があります。

株主優待商品のご紹介

株主優待カタログ '18では、全32の商品からお持ちの株主優待券の金額に応じてお好きな商品をお選びいただけます。

商品例

「讃岐切麦うどんセット」

うどんのルーツともいわれる“切麦”。じっくり時間をかけて、寝かせと鍛えを繰り返す昔ながらの製法で作りました。

株主優待券1,000円分/
太打ち麺200g×2袋、
細打ち麺200g×2袋
(送料・消費税込)



「三河カレーセット」

三河の“おいしい”とコラボレーションした、ホテルアークリッシュ豊橋のレトルトカレーです。

株主優待券2,000円分/
3個(送料・消費税込)



「ジュビロタオル」

サーラオリジナルデザインのジュビロタオルです。サーラグループはJリーグの「ジュビロ磐田」を応援しています。



株主優待券1,500円分/1枚(送料・消費税込)

株主メモ

事業年度

12月1日～翌年11月30日

定時株主総会

毎年2月中

基準日

定時株主総会の議決権・期末配当	11月30日
中間配当	5月31日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

 **0120-782-031**

取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法

電子公告（当社ホームページに掲載します）
<http://www.sala.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

生活にファインクオリティ

sala

お問合せ先

株式会社 サーラコーポレーション

総務部 総務グループ ☎0532-51-1182 E-mail : ir@sala.jp



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。